人間発達研究所

発達保障学校2026

学ぶことを力に　語りあうことを力に

人間発達研究所は、人間発達について学んだり研究したりする場を求めている人や、若手研究者の拠点として1985年に誕生しました。
発達保障学校は、その活動の成果を伝えつつ、次代の担い手を育成する場をとのねがいを込めて、2000年に開校しました。
目の前の子どもや青年はどのような発達のすじ道をたどり、その時々にどのような援助が必要なのか。発達を学び、実践のあり方を考えあい、発達を保障するため何が必要か考えあう他にはない学びの場です。
あなたもここで学ぶ楽しさを味わってみませんか？
各コースの世話人やTAが受講をサポートします。

事前学習会＆説明会

テーマ：私たちの仕事と社会のつながり
――発達・発達保障を学ぶ魅力――

日時：2026年5月10日（日）9:30～11:30
講師：黒川真友さん（おおつ福祉会）
形態：オンライン開催（zoom）　**※録画配信もあります**
参加無料　どなたでもご参加いただけます

黒川さんは、入門の入門コース講師の一人です。
入門の入門コースは、発達や発達保障を学ぶ入口として、個人・集団・社会の視点を意識した構成になっています。黒川さんが入門の入門コースで話されていることを伺いつつ、発達を学ぶ魅力を考えあいたいと思います（事前学習会）。各講師によるコースの紹介（説明会）もあります。
受講の相談もお待ちしています。

同時入会募集中

入会されると会員価格を適用します。
研究所開催の企画に会員価格で参加できる他、会報誌「人間発達研究所通信」を年4回、「人間発達研究所紀要」を年1回お届けするほか、投稿もできます。

人間発達研究所入会申込みサイト

人間発達研究所
〒520-0052　滋賀県大津市朝日が丘1-4-39　梅田ビル3階
Email　j-ih63su@j-ihd.com　　Tel/fax　077-524-9387

2026.4.3

申し込みについて

申込締切：各コース開始８日前
QRコードからお申し込みください。受講申込書もあります。
受付開始　2026年4月1日

発達保障学校　申込みサイト

受講料

10回コース／研究科
【一般】 40,700円
【会員】 35,200円
【25歳以下会員※】 27,500円
5回コース
【一般】 20,350円
【会員】 17,600円
【25歳以下会員※】 13,750円
発達診断方法論基本編
【一般】 4,070円
【会員】 3,520円
【25歳以下会員※】 2,750円
入門の入門コース
【一般･会員】 9,020円
【25歳以下会員※】 6,600円
実践が楽しくなる実践記録コース
集中講義
【一般】 5,000円
【会員】 3,500円
【25歳以下会員※】 2,500円

※25歳以下の会員割引は、2000年4月2日以降生まれの会員が対象です。

申し込み後のキャンセル

郵送･FAX･Emailでお知らせ下さい。
講義開始後はキャンセルできません。

入門の入門コース（乳幼児期・青年成人期）

対面開催　講義とグループワーク　3回（9:00～12:30）
【講師】安藤史郎（社会福祉法人　療育・自立センター）
黒川真友（社会福祉法人　おおつ福祉会）
松永朋子（射水市こども家庭センター）

入職後3年くらいまでの方のコースです。乳幼児期から成人期を対象とする方まで、「座学でしっかり学び」→「悩みを出し合い」→「学びを共有して明日からの実践につなげる」という構成で、グループワークもしながら学び合います。「わからない」を共有し合って、お互いの学びを深めましょう。目の前で起こっている問題や悩みを発達的に読み解くとどうなるのか。そのような見方・考え方の入り口に立てることをめざします。講義で発達や発達保障について基本的なことを学び、実践の楽しさや難しさについて、みんなで分かち合いましょう。

発達入門コース

ハイブリッド開催　講義形式　5回（13:30～16:30）
【講師】髙田智行（大津市母子保健課）

「何のために発達を学ぶのか？」について考えることからスタートし、乳児期から就学前までの発達の道筋を追いながら発達の基本を学んでいくコースです。発達の視点でみることで今まで気づかなかったことに気づいたりみえてくることがあります。その気づきや発見をどう実践にいかすのか、乳幼児健診や障害児保育などの事例も交えて講義をすすめます。子どもを発達の主体・発達の権利主体として捉えるということについても皆さんと一緒に考えたいと思います。

発達保障入門コース

ハイブリッド開催　講義形式　5回（13:30～16:30）
【講師】坂本　彩（彩社会福祉士事務所）

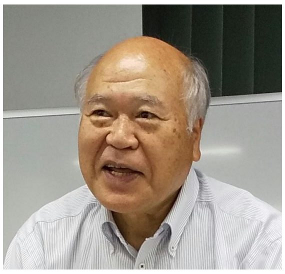
目の前の人とかかわる中で、「これでいいのかな？」と悩むことは日々あると思います。そんな時、「発達保障」という言葉を耳にするかもしれません。
このコースは、日々の実践で悩む人が立ち返る場所として「発達保障」について、一緒に学び、考えることを目的にしています。「入門」と書いてあるように、発達保障の入り口の扉を少し開いてちょっとのぞき見をしてみる…、もうちょっと足を踏み入れてみたくなる…、そんな内容にしたいと考えています。

実践が楽しくなる実践記録コース

集中講義（対面開催）と
オンライン開催　ゼミ形式　3回（9:00～12:00）
【講師】　山本翔太（社会福祉法人 桃郷）

実践記録を書く——。「何」を書いたらいいのか。「どう」書いたらいいのか。日々の実践の一コマ、相手の思い、自分の思いを言語化できるようになること、10年後に読み返しても「生き生きとした姿が目に浮かぶ」ような記録を書くことをめざします。
①集中講義と、②自分で書き上げたい人のゼミの２本立ての企画です。
①のみの受講も可能です。②は個別添削もしながら、実践記録を1本書き上げられるようにサポートします。初任～中堅の人に。

実践が楽しくなる実践記録コース集中講義



日　　　時: 2026年7月12日（日）12:45～16:45　（定員30人）
会　　　場: コラボしが21（大津市打出浜2-1）
ゲスト講師: 竹澤 清（NPOあいち障害者センター）
講　　　師: 山本翔太（社会福祉法人 桃郷）

5回コース受講の方の1回目です。申込み・受講料は5回コースに含まれています。

実践を学びあうコース

ハイブリッド開催　ゼミ形式　5回（13:00～16:00）1回目は9:30～12:30

【講師】　田村和宏（立命館大学）

日々向き合っている障がいのある子どもや青年・高齢者へのとりくみ（活動や仕事）やその姿、生き方について、コースに参加している多様な職場の人たちの眼でいっしょに解きほぐしてみませんか。自分の実践を多様な視点から見直してみることで、「わたしも、 なかなかやん」「こういう見方があったか」など、障がいのある人たちの内にある「ねがい」に触れ、新たな気づきに出会えて自分自身も発達します。そんなコースです。発表される実践報告から、いま大切にしたいことについて意見交換したり、参加者の感想から自分のところではこうしているという比較の議論も起こったりします。難しい話をするというより、こんないろんな話が職場でもやれたらなぁという、職場を変えていくおみやげ付きのコースです。後半はミニ講義をすることもあります。「パニックを起こすのはなぜか」など実践の中で少し困っていることを議論もしようと思っています。

福祉政策コース

ハイブリッド開催　講義形式　5回（13:00～16:00）1回目は13:30～16:30

【講師】　田村和宏（立命館大学）

参加者の日頃の疑問や関心を出発点に日頃ピンとこない福祉政策について講師がわかりやすく解説します。実践の厳しさがどこからきているのか、どういう考え方からきているのか、個人の発達と集団や社会のあり方をつなげて理解ができるような意見交流を行います。昨今は制度が変わるスピードが速く、その「改正」はどういう意味があるのかということを考える時間は、日々の実践のなかではなかなかとれないのが実態です。ですから「自分たちの実践が今日の社会の在り方の中でどこに向かっているのか、主人公は 誰なのか」に気づける「発達保障の眼」をこのコースでつけていきましょう。主には社会保障審議会障害者部会やこども家庭庁障害児支援部会、報酬改定などを中心にこれから2年間の速い流れを捕まえながらミニ講義と意見交換をします。時間があれば、それぞれの職場での制度改変の影響、運営の綱渡りや人員問題など、生で朝までトークとはいきませんが、日曜午後の“井戸端トーク”にしようと思います。「なぜ若い人たちは障害福祉や学童保育に集まらないのか」などの問いでディスカッションをしましょう。

発達基礎理論研究コース

ハイブリッド開催　ゼミ形式　10回（13:00～16:00）

【講師】　荒木穂積（立命館大学名誉教授）

田中昌人らの「可逆操作の高次化における階層-段階理論」の学習を軸にしてすすめます。2026年度は、幼児期の階層の5,6歳児に焦点をあててすすめます。必要に応じて幼児期の階層3,4歳児および少年・少女期の階層7,8歳児も取り上げます。前半では、幼児期の発達の基礎的理解をすすめて行きます。行動から思考へ、遊びの発展、心の理論・実行機能の発達、自制心の形成などをとりあげます。後半では、田中昌人・田中杉恵『子どもの発達と診断5：幼児期Ⅲ』大月書店（1986年）をテキストに発達診断と発達支援の実際について学んでいきます。DVD版『発達診断の実際 5歳児・6歳児』,『あそびの中にみる 5歳児・6歳児』等の映像を活用してすすめます。また、基本的な概念や用語など田中昌人らの著作や文献・資料に戻りながら学習をすすめていきます。
幼児期の発達を学習したい方、発達理論を学習したい方、実践者、大学院生、若手研究者のみなさんの参加を期待しています。公開学習会・集中講義も別途計画します。
難解といわれる発達理論ですがゼミナール形式で楽しく集団的に学んでいきましょう。

発達診断方法論 基本編コース（心理専門職コース）

対面開催　ゼミ形式　1回（13:00～16:00）

【講師】　木下孝司（神戸大学）

発達診断と保育・教育の専門性に基づいた子ども理解には、方法論の相違もありますが、子どもの内面世界を読み解き、その願いや悩みを再発見するという目標は共有されるものです。発達診断に実践的な視点を導入して、子ども理解を深めていくのに必要な発達研究の方法を確認して、受講者の皆さんが発達診断において工夫されていることを交流します。

発達診断方法論 臨床編コース（心理専門職コース）

対面開催　ゼミ形式　5回（13:00～16:00）
【講師】　松島明日香 （滋賀大学）

このコースは、発達診断において欠かせない基本的な概念の整理（講義、文献学習）と、事例を通しての学び（演習）の組み合わせによって学習していきます。新版K式発達検査を学んだことがある人、発達相談・発達診断に携わっている人が対象です。同時に「発達診断方法論基本編コース」を受講されることをお勧めします。

研究科

ゼミと個別指導によって論文を書き上げます。2026年10月～2028年10月
【研究科長】　渡部昭男（鳥取大学名誉教授）
【研究副科長】　山田宗寛（立命館大学）

オンライン開催です。2年間で修了論文を書き上げ、『人間発達研究所紀要』への投稿や学会等への発表をめざします。2か月に1回程度の全体ゼミと発表会があり、担当教員が伴走的に執筆を支援します。申し込みに際しては研究計画を作成していただき、面接（オンライン）のあと受講を決定します。紀要への投稿は、先行研究やテーマの妥当性・独自性が必要な原著の他に、実践記録、事例検討、研究ノート、動向、報告、実践紹介、資料等があります。発達に関わる論文の場合は、心理学の基礎的学習を終えられていることが望ましいです。このコースの締め切りは9月末です。

コース	入門の入門	発達入門	発達保障入門	実践が楽しくなる実践記録	実践を学びあう	福祉政策	発達基礎理論研究	発達診断方法論基本編	発達診断方法論臨床編
回数	3回	5回	5回	5回	5回	5回	10回	1回	5回
講師	安藤史郎 黒川真友 松永朋子	髙田智行	坂本　彩	山本翔太	田村和宏	田村和宏	荒木穂積	木下孝司	松島明日香
形式（会場）	対面（研究所）	対面と録画（大津市内）	ハイブリッド（大津市内）	対面(大津市内)とオンライン	ハイブリッド（研究所）	ハイブリッド（研究所）	ハイブリッド（研究所）	対面（研究所）	対面（研究所）
定員	20人	70人	20人	10人	15人	15人	15人	10人	10人
5月			31日(日)		31日(日) 9:30～	31日(日) 13:30～	30日(土)		
6月		28日(日)	21日(日)			28日(日)	20日(土)		
7月		26日(日)	19日(日)	12日(日) 集中講義	12日(日)		4日(土) 25日(土)		
8月	23日(日)		23日(日)		23日(日)	9日(日)		28日(土)	
9月		27日(日)	6日(日)		27日(日)		12日(土)		
10月	4日(日)	25日(日)		4日(日)		4日(日)	3日(土) 24日(土)		10日(土)
11月		29日(日)		15日(日)			28日(土)		14日(土)
12月	6日(日)			個別添削	20日(日)	13日(日)	19日(土)		12日(土)
1月							10日(日) 11日予備日		9日(土)
2月				14日(日)					13日(土)